

「(仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及び墨田区バリアフリー基本構想」に対する
パブリックコメントの実施結果について

1 パブリックコメントの実施概要及び結果

(1) 公表資料

- ア (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及び墨田区バリアフリー基本構想(案)
- イ (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及び墨田区バリアフリー基本構想(概要版)(案)

(2) 意見募集期間

令和7年12月9日(火)から令和8年1月9日(金)まで

(3) 意見募集の周知及び公表方法

ア 実施の周知

- ・区のお知らせ(令和7年12月11日号)による周知
- ・区公式ウェブサイトによる周知
- ・区公式SNS(X・フェイスブック)による周知
- ・福祉、保健、子育て施設へのチラシの配架
- ・関係団体等ヒアリング先への周知

イ 公表資料の閲覧方法

- ・区公式ウェブサイト
- ・区民情報コーナー
- ・福祉部地域福祉課 窓口

(4) 意見提出方法

郵送、ファックス、電子メール、電子申請(Logoフォーム)又は持参

(5) 意見提出先

福祉部 地域福祉課

(6) 意見募集の結果

意見者数: 4人、意見数7件

2 パブリックコメントの意見等の概要と区の考え方

No	意見等の概要	区の考え方
1	<p>東京ソラマチのエレベーターで、優先エレベーターが存在しているが、ドアにしか記載がなく中に入るとわからない。そのため、気付かずに乗っている人も多いと感じる。ベビーカーの人が何回も見送っているのを見かけているので、改善してほしい。</p> <p>子連れも多い地域なので、できれば百貨店のように優先ではなく専用エレベーターを作って、エレベーター内もわかりやすく大きく表示してほしい。</p>	<p>ご意見については、東京ソラマチへ共有させていただきました。また、ご意見を踏まえて、区ホームページにエレベーターを含むバリアフリー設備の優先利用等について新たに作成しました。今後は本内容について、SNS等を活用しながら周知啓発に努めています。</p> <p>また、ご紹介いただきました百貨店のエレベーターの取組等の先進事例を収集し、関係者間で共有させていただきます。</p>

2	<p>曳舟駅のホームが狭すぎてベビーカーで歩くのが怖いです。エレベーター待ちの場所も狭く、目の前に柱があるために並び列が左右に分かれ、誰が先に乗るのかわかりづらいです。並んでいることに気づかず、電車から降りた人に順番を抜かされた経験も何度かあります。</p>	<p>各鉄道事業者は事業計画などに基づき、利用者の移動等の円滑化に取り組んでいます。ご意見については、区内の各鉄道事業者へ共有させていただきました。</p> <p>また、分かりやすい出口案内の表示やエレベーターの利用等につきましては、各鉄道事業者と協力しながら、ソフト面・心のバリアフリーを推進していきます。</p>
3	<p>曳舟駅のエレベーターがあまりにも古くて遅いです。乗車までにとても時間がかかり、不便です。</p>	
4	<p>東向島駅のエレベーターは乗り場までにとても狭いホームの通路を歩く必要があり、ホームドアもないことでとても怖いです。</p>	
5	<p>浅草線の押上駅、A1,2,3 出口への案内が少なく、けっこう歩いてから逆に来ていたと気づくことがあります。もう少しわかりやすくなるとよいなと思っています。</p>	
6	<p>押上と錦糸町の間にある賛育会やすみほこへよく訪れる子育て世帯にとって、錦糸町押上間のバリアフリーの促進強化は大変ありがたく、ぜひとも期待しており、自分にできることがあれば参加して参ります。</p> <p>また、錦糸公園でイベントが開催された際は、四ツ目通りの車道まで人が溢れ、ベビーカーや車椅子が身動き取れないことが多いため、四ツ目通りの拡幅整備も期待しております。</p>	<p>押上駅周辺地区と錦糸町駅周辺地区については、配置要件や両地区の間にすみほこ（すみだ保健子育て総合センター）や賛育会病院があること等を踏まえて、一体的な重点整備地区としました。</p> <p>四ツ目通りに関するご意見につきましては、東京都へ共有するとともに、引き続き区内のバリアフリー化のため、連携・調整を図っていきます。</p>
7	<p>基本方針の「区民の心の バリアフリーの推進」には「支援を必要とする方々との交流機会の創出」という取り組みの記載がありますが、具体的な事業との紐付けが分かりません。どのような施策によって、どのような交流機会を創出するのでしょうか？</p>	<p>区では、障害のある人とその家族、地域の人々が障害の有無に関わらず交流できる機会として「すみだスマイル・フェスティバル」を開催するほか、区主催のイベント等で心のバリアフリーの PR 等を行っています。また、認知症の人とその家族、地域住民のほか認知症センター等、様々な人が気軽に集い、共に時間を過ごすことができるオレンジカフェすみだ（認知症カフェ）を実施しており、今後も引き続き各取組を推進していきます。</p>